

まちの風景（中川通り）



JR小野田線南中川駅のホームに立つと、小野田線のガード下を突き抜ける形で、南北に伸びる一本道がある。かつての町の本通り、中川通りだ。

大正時代には、硫酸町からセメント町に至る間に小野田町の戸数・人口の6割超が

集中していたこともあり、この街路沿いには、店舗や映画館などが立ち並び、賑やかな商店街を形作っていた。

長年の雑踏に踏み固められた、清々しいほど真っ直ぐに伸びるこの道は、先人達のエネルギーを今でも感じさせてくれる。